

引き続き堅実財政を遵守 しゅんしゅ

平成20年度施政方針

教育と安心・安全に重点を置き 希望と活力に満ちた毛呂山町を築きます

様ざまな変化を 見据えながら

我が国の景気はまだまだ厳しい状況にあります。埼玉県は平成20年度一般会計予算の総額は1兆7千181億5千300万円で、対前年比0.4パーセントの増となりましたが、県税収入は法人二税の減少により5年ぶりの減収となっています。

毛呂山町においては、税源移譲により、平成18年度と平成19年度の個人町民税の現年度課税分は、当初予算と比較すると約29・7パーセントの増収となりました。これは国の税制改正によるもので、所得税の一部を地方税にまわし、地方分権を推進しようとするものです。

また、平成20年4月1日から現

在の老人保健制度が「後期高齢者医療制度」に変わりました。こうした医療制度の改革にともない、老人保健法に基づき実施してきた基本健康診査に代わり、平成20年度からはそれぞれの医療保険者が特定健康診査・特定保健指導を行っていくこととなります。

そのため、保健センターでは、国民健康保険加入者の40歳から74歳までの方を対象に、特定健康診査・特定保健指導を行います。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合会からの委託事業により、75歳以上の方を対象とした健康診査を行っていきます。

新たな制度ですので、住民の方に制度がよりよく理解できるように周知徹底を図っていきます。

障害者地域デイケア施設あいあい園、第2あいあい園は、平成20

年4月1日から毛呂山町社会福祉協議会が指定管理者として運営管理します。

「目白台循環バス廃止に伴う住民の交通手段の確保に関する請願」については、町の公共交通施策について検討するため設置した「公共交通庁内検討委員会」で、引き続き検討を重ねているところです。

平成20年度の 主な事業について

平成20年度の予算編成にあたっては、「第四次毛呂山町総合振興計画基本構想」および「毛呂山町行財政集中改革プラン」などを基本として、国・県の動向を踏まえ、歳出全般について、厳しく抑制を図るとともに、限られた財源の効率的配分に努め編成しました。



毛呂山町長
小沢信義



子育て支援事業 現在、岩井学童保育所と川角学童保育所の2施設で学童保育を実施しています。近年とくに岩井学童保育所区域内の利用者が多く、定員を超える状況となっておりますので、早期に泉野小学校区に新学童保育所を開設するよう準備を進めます。

教育関連事業 毛呂山小学校校舎2棟について、耐震補強工事を実施します。南校舎に25か所、北校舎に2か所の計27か所に鉄骨ブレースを設置し、あわせてスリット補強も実施します。学校運営に支障をきたさないよう夏休み期間に実施したいと考えています。

また、学校二期制導入を契機として、昨年度は授業時間数増加を利用した学力向上の取組や、教育相談・体験的な学習や学校行事の充実など、各校で様々な改善を図ってきました。平成20年度においても、「二期制検証・元気のある学校づくり推進委員会」を設け、学校二期制による教育内容の改善をさらに推進してまいります。

都市計画事業 長瀬駅前野久保線については、引き続き用地の取得に努めるとともに、町道第110号路線以南については供用開始に向け、占用物件などの移転のための造成工事を実施します。また、

武州長瀬駅のバリアフリー化事業にあわせ、橋上駅舎化を見据えながら東武鉄道と自由通路の協議を進めてまいります。

なお、平成19年度から進めている武州長瀬駅周辺の用途地域の変更、防火・準防火地域の指定、地区計画の変更については、埼玉県知事同意後の決定告示を平成20年7月を目途に進めています。

福祉・障害者支援事業 いわゆるバリアフリー新法の施行により、1日の利用者が5千人以上ある駅は、平成22年度までにバリアフリー化が義務づけられました。本町においては、東武越生線の3駅が対象になります。川角駅には、スロープ、エレベーター2基、多機能トイレを、武州長瀬駅および東毛呂駅には、エレベーター2基、専用の跨線橋、多機能トイレを整備し、町民の駅利用の利便性を確保していきたくと考えています。なお、事業の実施主体は東武鉄道で、工事は3駅同時に行います。

土木・観光関連事業 岩井地内道路改良工事ほか7路線の工事を行い、住民が安全に利用できるよう生活道路の整備に努めます。農道整備についても引き続き実施してまいります。

また、荒廃した森林の再生事業として、滝ノ入地内にある町有林

を民間企業の社会貢献の一環として協力を得て、平成20年度より間伐し、3か年計画で山桜・もみじなどを植栽し、町民憩いの場として再生します。そのための進入路として、町道第6084号路線の測量業務委託と道路改良工事を実施します。

町界町名地番整理事業 平成16年度から実施している町界町名地番整理事業について、本年度は「岩井西」地区51・9ヘクタールを実施します。

水道事業 平成20年4月分から一般家庭の水道料金引き下げを実施しています。なお、今後とも町民の皆さんに安全な水を安定的に供給していくため、引き続き石綿管更新事業を推進するとともに、苦林浄水場に浄水施設を整備するため実施計画書等作成の業務委託を予定しています。



平成20年度の予算は、総じて教育と安心・安全を重んじた予算であり、前年度と比較して増額予算となりました。今後とも町民の立場に立ち、行財政改革を引き続き推進し、希望と活力に満ちた明日の毛呂山町を築くため、最大限の努力をいたしていく決意です。

